

## 東京の市立病院・診療所

158

本院は、市立病院を設立する旨の請願書を提出した。この請願書は、市立病院としての運営方針や、施設の構造や設備などについての具体的な内容が記載されている。

## 〔東京の市立病院・診療所〕

### 別 記 ・ 別 表

本院は、市立病院としての運営方針や、施設の構造や設備などについての具体的な内容が記載されている。

本院は、市立病院としての運営方針や、施設の構造や設備などについての具体的な内容が記載されている。

本院は、市立病院としての運営方針や、施設の構造や設備などについての具体的な内容が記載されている。

本院は、市立病院としての運営方針や、施設の構造や設備などについての具体的な内容が記載されている。

本院は、市立病院としての運営方針や、施設の構造や設備などについての具体的な内容が記載されている。

## 〔東京の市立病院・診療所〕

## 調査書及び教科評定分布表の作成

調査書及び教科評定分布表の作成に当たっては、各中学校において、調査書作成委員会を組織し、次に示す調査書、教科評定分布表作成上の注意に従って厳正に作成しなければならない。ただし、平成23年度以前に中学校を卒業した者（平成9年4月1日以前に出生した者）については、調査書を作成する必要はない。

### 調査書作成上の注意

- 1 保護者の欄は、指導要録に基づいて記入する。
- 2 出欠の記録の欄の在学者の第3学年分については、平成29年12月31日現在とする。なお、欠席日数の著しく多い者については、備考の欄にその理由を記入する。
- 3 「行動の記録」
  - (1) 行動の状況の欄には、指導要録の記入方法に準じて第3学年のものを記入する。
  - (2) 所見の欄には、趣味、特技等を必要に応じて記入する。
- 4 「観点別学習状況」
  - (1) 評価の欄には、指導要録の評価方法によって第3学年のものを記入する。
  - (2) 記入に当たっては、「A」、「C」の評価についてそれぞれA、Cと記入し、「B」の評価については空欄とし、評価の記載ができない場合は、斜線を引く。なお、選択教科の欄については、志願者が選択している場合、選択した全ての教科名及び観点を記入すること。
- 5 「各教科の学習の記録」
  - (1) 各学年の評定は、指導要録の評価方法に準じて行い、5段階評価の評定を記入する。
  - (2) 過年度卒業者については、全て指導要録に基づいて記入し、各学年の評定を5段階評定で記入する。
  - (3) 評定の記載ができない教科の評定欄には斜線を引く。
  - (4) ※印の欄は、記入しない。
  - (5) 評定の記載がされていない者（調査書の作成を必要としない者を除く。）が高等学校を志願する場合は、中学校長は副申書（様式第13号）を提出しなければならない。
- 6 「総合的な学習の時間の記録」
  - (1) 第3学年の活動を中心に指導要録の記入方法に準じて記入する。
  - (2) 学習活動の欄には、主要な学習活動を記入する。
  - (3) 観点の欄には、主要な観点を1又は2記入する。
  - (4) 評価の欄には、(3)で記入した観点についての評価を記入する。
- 7 「特別活動の記録」
  - (1) 観点の欄には、主要な観点を1又は2記入する。
  - (2) 各内容・学年の欄には、(1)で記入した観点等について、十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。
- 8 「特記事項の欄」  
芸術・文化、体育・スポーツ、ボランティア、人権などの諸活動において顕著な実績があれば、必要に応じて記入する。

### 教科評定分布表作成上の注意

- 1 分布表は、平成29年12月31日現在で在籍している第3学年全員の評定について作成し、提出するものとする。ただし、県外からの志願者及び過年度卒業者については、分布表の提出は不要である。
- 2 高等学校及び委員会へ提出する分布表は、全て同一でなければならない。
- 3 分布表の用紙は、様式第6号によって各中学校において作成したもの要用い、その大きさはA4判とする。

## 相 関 表 の 作 成

一般選抜において、各高等学校長は調査書の「各教科の学習の記録」の評定から算出した調査書の評定値合計と学力検査の得点合計の相関表を用いて合格者の選考（第2次選考）に当たるものとする。

なお、相関表の作成に当たっては、次に示す調査書の評定値合計の算出方法及び相関表作成上の注意に従って厳正に作成しなければならない。

### 調査書の評定値合計の算出方法（高等学校）

調査書の評定値合計は、次により算出する。

- 1 音楽、美術、保健体育及び技術・家庭の4教科については、第1学年から第3学年までの評定値合計を2倍する。
- 2 国語、社会、数学、理科及び外国語については、第1学年から第3学年までの評定値合計とする。
- 3 調査書の評定値合計は、上記1及び2を合計して195点満点とする。

### 相 関 表 作 成 上 の 注 意（高等学校）

- 1 学科ごとに、学力検査の受検者（調査書の評定の記載がされていない者、調査書の作成を必要としない者及び定時制課程特例措置適用申請書提出者を除く。）を、調査書の評定値合計及び学力検査の得点合計それぞれにより10段階に区分する。この場合、各段階の人数は、次の表に示す配分率によるものとし、各段階の表示は、評定値合計又は得点合計の高いものから順に、10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1とする。

10段階法による人数配分表

段階	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
配分率%	2	5	9	15	19	19	15	9	5	2

基準人数の算定に当たっては、原則として、段階ごとに小数第1位を四捨五入し、その結果の総数と、受検者数との間に差を生じる場合は、5, 6の段階で調整するものとする。

- 2 調査書の評定値合計の段階を横軸に、学力検査の得点合計の段階を縦軸にとって、様式第24号により相関表を作成する。

### 別記3

## 所属学区を変更する者の手続

県内の中学校在学者又は卒業者のうち、特別な理由により学区内志願者扱いを希望する者は、次により手続を行わなければならない。

### 1 手続期間・提出先

入学願書等の受付期間に、中学校長を経由して志願先高等学校長に提出する。

### 2 提出書類

次の書類を中学校長を経由して提出すること。

- (1) 所属学区変更許可願（様式第7号）
- (2) 書類提出時における住民票（父及び母＜又は後見人＞と志願者が記載（続柄も記載）されたもの）の写し
- (3) 特別な理由を証明する書類（一家転住を証明する書類、住居に関する証明書、区域外就学承認書の写し等）

### 3 高等学校長による措置

高等学校長は、「所属学区変更許可願」について公正で適正な審査を行い、その理由がやむを得ないものであると認めた場合は、この志願者を学区内志願者として扱うものとする。

審査の結果、不当と認められる志願者について、高等学校長は中学校長を通じ学区内外の変更手続をとらせる。なお、特色選抜では1月30日（火）までに、一般選抜では3月5日（月）までにこの措置をとるものとする。また、学区内外の変更手続をとらせた場合には、委員会へ速やかに報告する。

### 4 所属学区変更許可願を必要とする場合

内 容	提 出 書 類
(1) 県内における転居の場合（転勤や新築等のために4月からは学区内に転居することが確実となる場合） ア 保護者の転勤等による転居の場合  イ 保護者が自宅を新築又は購入して転居する場合	ア 保護者の転勤等による場合 (ア) 所属学区変更許可願 (イ) 書類提出時における住民票（父及び母＜又は後見人＞と志願者が記載（続柄も記載）されたもの）の写し (ウ) 保護者の住所の移転を証明する書類 a 社宅に転居……社宅入居（予定）証明書 b 借家に転居……家屋賃貸契約書の写し c 実家に転居……家屋登記簿の写し（登記者と保護者が異なる場合は、その間柄を証明する書類も必要とする。） (I) 転勤辞令の写し又は転勤内示証明書等（転勤以外の理由で転居する場合は必要としない。）  イ 自宅を新築又は購入した場合 (ア) 所属学区変更許可願 (イ) 書類提出時における住民票（父及び母＜又は後見人＞と志願者が記載（続柄も記載）されたもの）の写し (ウ) 保護者の住所の移転を証明する書類 建築確認済証の写し又は家屋登記簿の写し等
(2) 保護者の住所は学区外にあり、志願者の住所は学区内にある場合	(ア) 所属学区変更許可願 (イ) 書類提出時における住民票（父及び母＜又は後見人＞と志願者及び志願者が学区内で同居する祖父母等が記載（続柄も記載）されたもの）の写し
(3) 保護者の住所は学区内にあるが、学区外の中学校へ通学している場合	(ア) 所属学区変更許可願 (イ) 書類提出時における住民票（父及び母＜又は後見人＞と志願者が記載（続柄も記載）されたもの）の写し (ウ) 区域外就学承認書の写し
【備 考】 判断が困難な場合は、次の担当へ問い合わせてください。 徳島県教育委員会 教育創生課 新未来教育担当 (TEL 088-621-3120)	

### 5 その他

県外からの志願者は、所属学区変更許可願を必要としない。

## 県外から志願する者の手続

一家転住等の特別な事情（下記1）があるて、県外から公立高等学校の全日制の課程を志願する者は、中学校長を経由して、県外志願特例措置願（様式第8-1号参照）を、県立高等学校を志願する場合は徳島県教育委員会へ、徳島市立高等学校を志願する場合は徳島市教育委員会へ提出し、出願に係る教育長の承認を受けなければならない。

### 1 出願に係る教育長の承認を受けることができる特別な事情

- (1) 保護者と徳島県内に転住を予定している場合
- (2) 四国他県の中学校からの志願者で、徳島県外の自宅から通学を予定している場合
- (3) 志願者のみが徳島県内に転住を予定している場合（ただし、徳島県内に居住する保証人〔保証人は、独立の生計を営む成年者で、保護者に代わって生徒を指導できる者とする。〕が必要。）
- (4) 上記(1)～(3)以外で特別の事情があると教育長が認めた場合

2 上記1(3)の場合に、出願の承認を受けることができる学校名及び合格者数は次表のとおりとする。  
ただし、合格者数は募集定員の内数とし、特色選抜、一般選抜及び第2次募集それぞれの合格者数を合わせたものとする。

なお、普通科を志願する場合、通学区域についての制限は適用しない。

学 校 名	合 格 者 数 (定員内)
鳴門渦潮高等学校（体育科）、名西高等学校（芸術科）	募集定員の <u>20%</u> 以内
<u>海部高等学校</u>	<u>人数制限なし</u>
那賀高等学校、吉野川高等学校、穴吹高等学校、 つるぎ高等学校、 <u>池田高等学校</u> 、 城西高等学校神山分校、小松島西高等学校勝浦校、 池田高等学校三好校	5人以内
城東高等学校、 <u>徳島市立高等学校</u> 、小松島高等学校、 富岡東高等学校、鳴門渦潮高等学校（総合学科）、 <u>脇町高等学校、池田高等学校辻校</u>	2人以内

### <上記1(3)の場合に出願を承認する目的>

本県の魅力である「豊かな環境・地域の特性」と「特色ある高校教育」に関心を持ち、高い意欲と能力を有する生徒を全国から受け入れ、「専門教育の充実」、「競技力の向上」、「文化芸術の振興」など、学校の活性化のみならず、地方創生の実現を目指す。

### 3 手続方法

- (1) 手続期間（事前に、中学校から徳島県教育委員会又は徳島市教育委員会に問い合わせること。）

- ア 特色選抜 平成29年12月4日（月）～平成30年1月9日（火）
- イ 一般選抜 平成30年1月15日（月）～平成30年2月6日（火）
- ウ 第2次募集 平成30年2月19日（月）～平成30年3月6日（火）

受付時間は午前9時から午後5時までとする。ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除く。

郵送により提出する場合は、書留速達で、受付最終日の午後5時までに必着とする。ただし、受付最終日の前日までの消印のあるものは受け付ける。

#### (2) 提出書類

- ア 県外志願特例措置願
- イ 返信用封筒（定形封筒〔長形3号23.5cm×12cm〕に宛先（中学校長宛）を記入し、392円分の切手〔簡易書留とする。料金改定があった場合は、改定後の料金分の切手〕を貼ること。）
- ウ 県立高等学校の場合、その他の添付書類については、次の(3)ウのとおりである。（徳島市立高等学校の場合は、徳島市教育委員会へ問い合わせること。）

### (3) 県外志願特例措置願の記入上の注意等

ア 「入学希望学校及び学科」欄の「第1希望」、「第2希望」欄について

志願者は、2以上の高等学校に願書を提出することはできないが、志望の変更等に備えて、「第2希望」欄に「第1希望」欄と異なる学校・学科を記入することは差し支えない。ただし、志願者のみの転住で出願の承認を受ける場合は、上記2の表にある高等学校とする。

イ 「理由」欄には、徳島県の高等学校を志願する理由を具体的に記入すること。

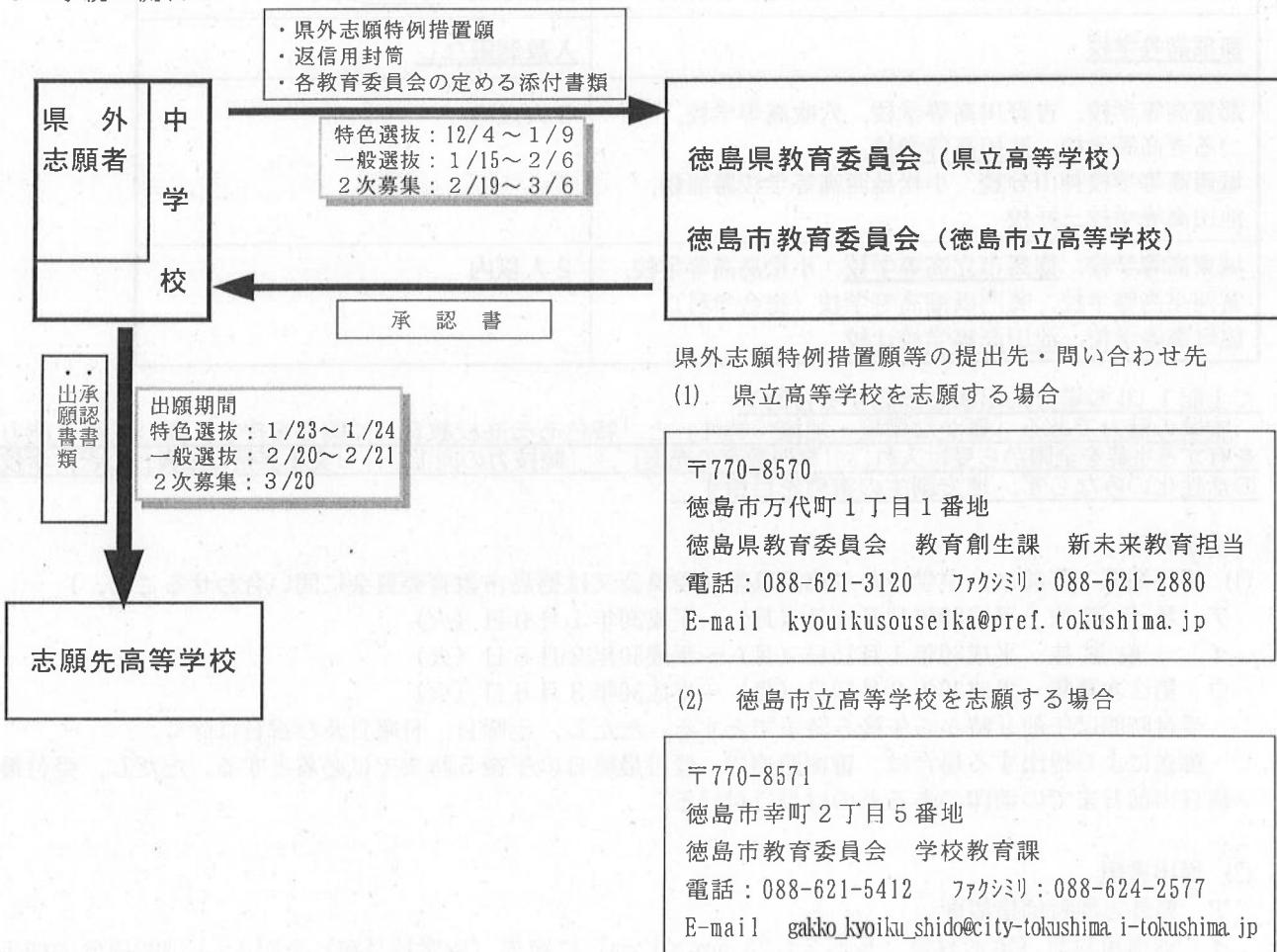
ウ 県外志願特例措置願の添付書類

- (ア) 上記1の特別な事情共通で、書類提出時における住民票（父及び母＜又は後見人＞と志願者が記載（綱柄も記載）されたもの）の写し
- (イ) 上記1(1)の場合は、(ア)に加えて、保護者の住所の移転を証明する書類又は誓約書等
- (ウ) 上記1(3)の場合は、(ア)に加えて、保証人引受承諾書兼誓約書及び保証人の住民票の写し
- (エ) 上記1(4)の場合は、上記1(1)～(3)の場合の添付書類の例に準じて、客観的に事情を証明する書類

### 4 出願に係る教育長の承認後の各高等学校への出願について

承認された県外志願者は、徳島県教育委員会又は徳島市教育委員会からの承認書（様式第8-2号参照）を他の出願書類に添付して、中学校長を経由して、志願先高等学校長に提出しなければならない。ただし、一般選抜及び第2次募集については、特色選抜又は一般選抜で当該教育委員会から既に承認を受けている志願者は、県外志願特例措置願を改めて当該教育委員会へ提出し、承認書を得る必要はない。その場合、特色選抜又は一般選抜受検校より、承認書の写しの交付を受け、承認書の写しを他の出願書類に添付して志願先高等学校長に提出するものとする。

### 5 手続の流れ



## 一般選抜実技検査実施校及び検査内容

### 1 実技検査実施校

学 校 名	大学科名	小 学 科 名
鳴門渦潮高等学校	体育科	スポーツ科学科
名西高等学校	芸術科	芸術科（音楽），芸術科（美術），芸術科（書道）

※各学科とも、特色選抜の結果、合格者数が募集定員を満たしていない場合に実施する。

### 2 鳴門渦潮高等学校体育科一般選抜実技検査内容等

- (1) 検査日時 平成30年3月7日（水）時刻については別に定める。
- (2) 検査場 鳴門渦潮高等学校
- (3) 内容 志願者が希望する種目（専攻実技種目）別に、特色選抜における「実技等の具体的な内容」から検査を行う（「平成30年度生徒募集案内」を参照のこと。）。

#### (4) 持参物

- ア 受検票を持参すること。
- イ 体操服等については、「平成30年度生徒募集案内」を参照のこと。

#### (5) 注意事項

- ア 体育科を第2志望としている者も、この実技検査を受けなければならない。
- イ 実技検査当日、急病、交通事故、天災地変その他やむを得ない理由で欠席し、追検査を受けようとする者は、3月7日（水）中に追検査願を鳴門渦潮高等学校長に提出し、3月8日（木）に行われる追検査を受検することができる。
- ウ 実技検査当日の日程等の詳細については、鳴門渦潮高等学校長より中学校長を通じて志願者に通知する。

#### (6) その他

第2次募集において、鳴門渦潮高等学校体育科を志願する者は、3月26日（月）に実施する実技検査を受けなければならない。なお、内容については、一般選抜実技検査に準ずる。

### 3 名西高等学校芸術科一般選抜実技検査内容等

- (1) 検査日時 平成30年3月7日（水）時刻については別に定める。
  - (2) 検査場 名西高等学校
  - (3) 内容 志願者が希望する活動（音楽・美術・書道）別に、特色選抜における「実技等の具体的な内容」から検査を行う（「平成30年度生徒募集案内」を参照のこと。）。
- なお、音楽については聴音と視唱を課さない。

#### (4) 持参物

- ア 受検票を持参すること。
- イ 筆記用具等については、「平成30年度生徒募集案内」を参照のこと。

#### (5) 注意事項

- ア 芸術科を第2志望としている者も、この実技検査を受けなければならない。
- イ 実技検査当日、急病、交通事故、天災地変その他やむを得ない理由で欠席し、追検査を受けようとする者は、3月7日（水）中に追検査願を名西高等学校長に提出し、3月8日（木）に行われる追検査を受検することができる。
- ウ 実技検査当日の日程等の詳細については、名西高等学校長より中学校長を通じて志願者に通知する。

#### (6) その他

第2次募集において、名西高等学校芸術科を志願する者は、3月26日（月）に実施する実技検査を受けなければならない。なお、内容については、一般選抜実技検査に準ずる。

## 入学者選抜に係る個人情報の開示

受検者は選抜の結果について、徳島県個人情報保護条例（平成14年徳島県条例第43号）第26条第1項及び徳島市個人情報保護条例（平成17年徳島市条例第1号）第25条第1項の規定に基づき、口頭による開示請求を行うことができる。

### 1 開示の内容

- (1) 特色選抜における受検者本人の「調査書の評定値合計」、「学力検査の教科別得点」、「活動記録の得点」、「作文の得点」、「面接の得点」及び「実技等の得点」
- (2) 連携型選抜における受検者本人の「学力検査の教科別得点」
- (3) 一般選抜における受検者本人の「調査書の評定値合計」及び「学力検査の教科別得点」

### 2 受付期間・受付時間

- (1) 「調査書の評定値合計」以外については、次の期間とする。

#### ア 特色選抜及び連携型選抜

2月13日（火）から3月12日（月）までの1月間とする。ただし、土曜日、日曜日、祝日、3月6日（火）及び3月7日（水）を除く、平日の午前9時から午後5時までとする。

#### イ 一般選抜

3月15日（木）から4月16日（月）までの1月間とする。ただし、土曜日、日曜日及び祝日を除く、平日の午前9時から午後5時までとする。

- (2) 「調査書の評定値合計」については、3月28日（水）から4月27日（金）までの1月間とする。ただし、土曜日、日曜日及び祝日を除く、平日の午前9時から午後5時までとする。

### 3 受付場所等

開示の請求は、受検者が本人であることを確認できる書類（受検票等）を持参の上、受検した高等学校で行うものとする。

別表1

## 公立高等学校一覧

様式の学校番号はこの表の番号を記入する。

学校番号	高等學校	課程	大学科	小学科・類
1	城東高等学校	全日制	普通科	普通科
2	城南高等学校	全日制	普通科 理数科	普通科 応用数理科
3	城北高等学校	全日制	普通科 理数科	普通科 理数科学科
4	城ノ内高等学校	全日制	普通科	普通科
5	徳島北高等学校	全日制	普通科 外国語科	普通科 国際英語科
6	徳島市立高等学校	全日制	普通科 理数科	普通科 理数科
7	城西高等学校	全日制	農業科 総合学科	生産技術科, 植物活用科, 食品科学科, アグリビジネス科 総合学科
8	城西高等学校神山分校	全日制	農業科	生活科, 造園土木科
9	徳島科学技術高等学校	全日制	工業科 水産科	総合科学類, 機械技術類, 電気技術類, 建設技術類 海洋科学類, 海洋技術類
10	徳島商業高等学校	全日制	商業科	情報処理科, 会計情報科, 商業科
11	小松島高等学校	全日制	普通科	普通科
12	小松島西高等学校	全日制	商業科 家庭科 福祉科	商業科 食物科, 生活文化科 福祉科
13	小松島西高等学校勝浦校	全日制	農業科	応用生産科, 園芸福祉科
14	富岡東高等学校	全日制	普通科 商業科	普通科 商業科
15	富岡東高等学校羽ノ浦校	全日制	看護科	看護科
16	富岡西高等学校	全日制	普通科 理数科	普通科 理数科
17	阿南光高等学校	全日制	工業科 総合学科	機械ロボットシステム科, 電気情報システム科, 都市環境システム科 産業創造科

学校番号	高等學校	課程	大学科	小学科・類
18	那賀高等学校	全日制	普通科	普通科
			農業科	森林クリエイト科
19	海部高等学校	全日制	普通科	普通科
			商業科	情報ビジネス科
			理数科	数理科学科
20	鳴門高等学校	全日制	普通科	普通科
21	鳴門渦潮高等学校	全日制	体育科	スポーツ科学科
			総合学科	総合学科
22	板野高等学校	全日制	普通科	普通科
23	名西高等学校	全日制	普通科	普通科
			芸術科	芸術科(音楽), 芸術科(美術), 芸術科(書道)
24	吉野川高等学校	全日制	農業科	農業科学科, 生物活用科
			商業科	会計ビジネス科, 情報ビジネス科, 食ビジネス科
25	川島高等学校	全日制	普通科	普通科
26	阿波高等学校	全日制	普通科	普通科
27	阿波西高等学校	全日制	普通科	普通科
28	穴吹高等学校	全日制	普通科	普通科
29	脇町高等学校	全日制	普通科	普通科
30	つるぎ高等学校	全日制	工業科	電気科, 機械科, 建設科
			商業科	商業科, 地域ビジネス科
31	池田高等学校	全日制	普通科	普通科
			理数科	探究科
32	池田高等学校辻校	全日制	総合学科	総合学科
33	池田高等学校三好校	全日制	農業科	食農科学科, 環境資源科
34	徳島科学技術高等学校	定時制	工業科	機械類, 工業技術類
35	徳島中央高等学校	定時制	普通科	普通科(昼間部午前), 普通科(昼間部午後), 普通科(夜間部)
36	富岡東高等学校	定時制	普通科	普通科
37	鳴門高等学校	定時制	普通科	普通科
38	名西高等学校	定時制	普通科	普通科
39	池田高等学校	定時制	普通科	普通科

## スポーツ拠点校推進事業並びにトップスポーツ校育成事業の指定校及び指定競技

### 1 スポーツ拠点校推進事業

鳴門渦潮高等学校体育科（スポーツ科学科）において、徳島県の公立高等学校運動部の中核に位置付け、本県の競技力向上を推進する競技は次のとおりです。特色選抜で募集します。

〔専攻実技種目〕

陸上競技（男子・女子）、野球（男子）、バスケットボール（男子）、サッカー（女子）、柔道（男子・女子）、ウエイトリフティング（男子・女子）、ラグビー（女子）、剣道（男子）  
[男子6部、女子5部]

### 2 トップスポーツ校育成事業

- (1) トップスポーツ校育成事業において、平成30年度の指定校及び指定競技は、次のとおり決定しています。  
なお、平成30年度の各指定校のカテゴリー（強化推進校、競技普及校、地域活性化校）については、平成29年度末に開催する評価委員会において、各部の活動状況等を評価して決定します。
- (2) 各指定校は、指定競技について、特色選抜で募集します。

指 定 校	男子指定競技	女子指定競技
城 東 高 等 学 校	バスケットボール	バドミントン
城 南 高 等 学 校	テニス	バレー、卓球
城 北 高 等 学 校		バスケットボール、ハンドボール
徳 島 北 高 等 学 校		柔道
徳 島 市 立 高 等 学 校	ハンドボール、サッカー	
城 西 高 等 学 校	ライフル射撃	ライフル射撃
徳 島 科 学 技 術 高 等 学 校	ソフトボール、 ウエイトリフティング	
徳 島 商 業 高 等 学 校		テニス
小 松 島 西 高 等 学 校 勝 浦 校	ライフル射撃	ライフル射撃
富 岡 東 高 等 学 校		バスケットボール、剣道
阿 南 光 高 等 学 校	ホッケー、バレー	
海 部 高 等 学 校	バスケットボール	
鳴 門 高 等 学 校	陸上競技、体操	陸上競技
川 島 高 等 学 校	剣道	剣道
阿 波 高 等 学 校	柔道	
穴 吹 高 等 学 校	レスリング	
脇 町 高 等 学 校		ソフトテニス
つ る ぎ 高 等 学 校	ラグビーフットボール、 ソフトテニス、陸上競技	
池 田 高 等 学 校	レスリング	レスリング
池 田 高 等 学 校 辻 校		ソフトボール

別表3

## 特色選抜、一般選抜及び第2次募集の選抜資料

各高等学校の選抜資料等に○印を付けています。

### 1 特色選抜

- (1) 選抜資料は、調査書、学力検査、活動記録、作文、面接及び実技等です。
- (2) 作文、面接及び実技等の実施の有無は、各高等学校長が定めます。
- (3) 実技等において「実技等調査票」を提出する場合は「調査票」の欄に○印を付けています。ただし、「実技等調査票」は選抜資料ではありません。

### 2 一般選抜

- (1) 選抜資料は、調査書、学力検査、面接、実技検査及び活動記録（体育科及び芸術科）です。
- (2) 面接方法（個人面接又は集団面接）及び実技検査の実施の有無は、各高等学校長が定めます。

### 3 第2次募集

- (1) 選抜資料は、調査書、作文、面接、学校指定教科の検査、実技検査及び活動記録（体育科及び芸術科）です。
- (2) 学校指定教科の検査及び実技検査の実施の有無並びに実施内容は、各高等学校長が定めます。

#### 【全日制の課程】

学校名	特色選抜							一般選抜					第2次募集					実技検査	
	調査書	学力検査	活動記録	作文	個人面接	集団面接	実技等		調査書	学力検査	個人面接	集団面接	実技検査	調査書	作文	面接	学校指定教科の検査		
							実施	調査票									口頭試問	筆記検査	
城東	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○		○	○	○		数英	
城南	○	○	○				○	○	○	○	○		○	○	○				
城北	○	○	○		○		○		○	○	○			○	○	○		数英	
城ノ内	○	○	○		○				○	○	○			○	○	○		数英	
徳島北	○	○	○		○		○		○	○	○			○	○	○		数英	
徳島市立	○	○	○		○		○	○	○	○	○			○	○	○		数英	
城西	○	○	○		○		○	○	○	○	○			○	○	○			
城西神山									○	○	○			○	○	○			
徳島科学技術	○	○	○		○		○		○	○	○			○	○	○			
徳島商業	○	○	○				○		○	○	○			○	○	○			
小松島	○	○	○		○		○		○	○	○			○	○	○		数英	
小松島西	○	○	○		○		○	○	○	○	○			○	○	○			
小松島西勝浦	○	○	○		○		○		○	○	○			○	○	○			
富岡東	○	○	○		○				○	○	○			○	○	○		数英	
富岡東羽ノ浦									○	○	○			○	○	○			
富岡西	○	○	○		○		○		○	○	○			○	○	○		数英	
阿南光	○	○	○		○				○	○	○			○	○	○			
那賀	○	○	○		○		○		○	○	○			○	○	○		数英	
海部	○	○	○		○		○		○	○	○			○	○	○		数英	

学校名	特色選抜							一般選抜				第2次募集					実技検査		
	調査書	学力検査	活動記録	作文	個人面接	集団面接	実技等		調査書	学力検査	個人面接	集団面接	実技検査	調査書	作文	面接	学校指定教科の検査		
							実施	調査票											
鳴門	○	○	○		○		○	○	○	○	○			○	○	○			
鳴門渦潮	○	○	○		○		注1		○	○	○		注1	○	○	○		注1	
板野	○	○	○		○		○		○	○	○			○	○	○	数英		
名西	○	○	○		○		○	注2	○	○	○		注3	○	○	○		注3	
吉野川	○	○	○		○		○		○	○	○			○	○	○			
川島	○	○	○		○				○	○	○			○	○	○			
阿波	○	○	○		○				○	○	○			○	○	○			
阿波西	○	○	○		○		○		○	○	○			○	○	○	国数英		
穴吹	○	○	○		○		○		○	○	○			○	○	○	数英		
脇町	○	○	○	○	○				○	○	○			○	○	○	数英		
つるぎ	○	○	○		○		○		○	○		○		○	○	○	国数		
池田	○	○	○		○		○	○	○	○	○			○	○	○	数英		
池田辻	○	○	○		○		○		○	○	○			○	○	○	数英		
池田三好									○	○	○			○	○	○	国数英		

注1 鳴門渦潮高等学校の特色選抜での実技等並びに一般選抜及び第2次募集での実技検査は、体育科において実施します。体育科を志望（一般選抜及び第2次募集における第2志望を含む。）する者は、受検しなければいけません。また、活動記録の提出も必要です。

注2 名西高等学校の特色選抜での実技等調査票は、芸術科を志望する者のみ提出が必要です。

注3 名西高等学校の一般選抜及び第2次募集での実技検査は、芸術科において実施します。芸術科を志望（一般選抜及び第2次募集における第2志望を含む。）する者は、受検しなければいけません。また、活動記録及び実技等調査票の提出も必要です。

#### 【定時制の課程】

学校名	特色選抜							一般選抜				第2次募集					実技検査		
	調査書	学力検査	活動記録	作文	個人面接	集団面接	実技等		調査書	学力検査	個人面接	集団面接	実技検査	調査書	作文	面接	学校指定教科の検査		
							実施	調査票											
徳島科学技術									○	○	○			○	○	○			
徳島中央									○	○	○			○	○	○			
富岡東									○	○	○			○	○	○			
鳴門									○	○	○			○	○	○			
名西									○	○	○			○	○	○			
池田									○	○	○			○	○	○			

地区大別	被監禁者								被監禁者								被監禁者							
	総数	中国	日本	朝鮮	滿洲	蒙古	西藏	外國人	年老者	婦女	囚犯	年老者	婦女	囚犯	年老者	婦女	囚犯							
被監禁者 総数	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
性別別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
民族別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
籍貫別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
性別年齢別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
民族籍貫別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別年齢別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別年齢別性別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別年齢別性別年齢別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別年齢別性別年齢別性別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別年齢別性別年齢別性別年齢別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別年齢別性別年齢別性別年齢別性別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別年齢別性別年齢別性別年齢別性別年齢別性別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							

「本邦在日朝鮮人被監禁者、日本在日朝鮮人被監禁者、外國在日朝鮮人被監禁者」の三種類に分類され、その内、日本在日朝鮮人被監禁者は157人である。

「本邦在日朝鮮人被監禁者」は、日本在日朝鮮人被監禁者の中でも最も多く、157人のうち125人が該當する。これは、朝鮮半島の強制勞働者を除くと、現在の日本在日朝鮮人のうち約13%が該當する。

「日本在日朝鮮人被監禁者」は、日本在日朝鮮人被監禁者のうち最も多く、157人のうち125人が該當する。

地区大別	被監禁者								被監禁者								被監禁者							
	総数	中国	日本	朝鮮	滿洲	蒙古	西藏	外國人	年老者	婦女	囚犯	年老者	婦女	囚犯	年老者	婦女	囚犯							
被監禁者 総数	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
性別別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
民族別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
籍貫別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
性別年齢別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
民族籍貫別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別年齢別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別年齢別性別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別年齢別性別年齢別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別年齢別性別年齢別性別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別年齢別性別年齢別性別年齢別性別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別年齢別性別年齢別性別年齢別性別年齢別性別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別年齢別性別年齢別性別年齢別性別年齢別性別年齢別性別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							
年齢性別民族籍貫別年齢別性別年齢別性別年齢別性別年齢別性別年齢別性別年齢別性別年齢別性別	157	38	34	4	14	2	1	1	2	3	4	11	3	2	1	1	1							

中華人民共和國農業部農業科學研究所編《植物學》(農業編)、中國科學院植物研究所編《植物志》(植物編)、中國科學院植物研究所編《中國植物志》(植物志)、中國科學院植物研究所編《中國植物志》(植物志)。

## 書類樣式

# 様 式 一 覧

備考欄に留意して作成すること。なお、「入学願書」、「受検票」の用紙及び「選抜結果通知用封筒」については、委員会が配付するものを使用すること。

様式番号	書類名	特色	連携	一般	2次	備考
1-1	入学願書（特色・連携）	○	○			
1-2	入学願書（一般・2次）			○	○	住所は、住民票に基づいて記入し、指導要録の記載と一致させる。
2-1	受検票（特色・連携）	○	○			
2-2	受検票（一般・2次）			○	○	高校控は各高等学校が切り離し保存する。
3	選抜結果通知用封筒	○	○	○	○	
4	調査書	○		○	○	別記1参照
5-1	志願者名簿（特色・連携）	○	○			選抜の種類、学区別（普通科の場合）に作成する。
5-2	志願者名簿（一般・2次）			○	○	学区別（一般における普通科の場合）に作成する。
6	教科評定分布表	○		○	△	特色で提出済みでも、一般で再度提出する。
7	所属学区変更許可願	△		△		別記3参照
8-1	県外志願特例措置願	△		△	△	別記4参照
8-2	徳島県立高等学校入学志願承認書	△		△	△	別記4参照
9	活動記録	○		△	△	
10	志望理由書（連携）		○			
11	実技等調査票	△		△	△	
12	自己申告書	△		△	△	特別の事情により欠席が多い者が提出できる。
13	副申書	△		△	△	
14-1	特別措置申請書	△	△	△	△	
14-2	英語リスニングテスト特別措置申請書			△		
15	在籍志願承認書	△		△	△	
16	志願変更願			△		
17	志願変更書類受領書			△		
18	追検査・追面接願			△		
19	出願取消届	△	△	△	△	速やかに提出する。
20	入学辞退届	△	△	△	△	速やかに提出する。
21	定時制課程特例措置適用申請書			△		
22	連携型中高一貫教育に係る副申書	○				
23-1	志願者受付・受検者名簿（特色・連携）	○	○			選抜の種類、学科、学区別（普通科の場合）に作成する。
23-2	志願者受付・受検者名簿（一般・2次）			○	○	学科、学区別（一般における普通科の場合）に作成する。
24	相関表			○		別記2参照
25-1～4	徳島県公立高等学校入学者選抜の結果について	○	○	○	○	阿南光高等学校の選抜結果については、様式25-3、25-4を使用する。
26-1	受検者数集計表（特色・連携）	○	○			
26-2	受検者数集計表（一般）			○		
27-1	県外からの志願者集計表（特色）	△				該当者のいる場合にのみ提出する。
27-2	県外からの志願者集計表（一般）			△		
28	入学願書（通信制の課程）					

注意 表中の○は必須書類。△は該当者・該当校のみ必要な書類。

# ○ 入 学 願 書

(特色選抜・連携型選抜)

全日制  
貴校 の課程に入学したいのでお願いします。  
定時制

志望する学科は次のとおりです。

平成 年 月 日

志望 学科 順位	1	科・類	2	科・類
	3	科・類	4	科・類
	5	科・類	6	科・類

選抜の種類		特 色 選 抜 の 分 野 名			
		・スポーツ( )	・文化活動( )	・その他( )	・指定競技( )

志 願 者	氏 名  現 住 所		性 別		生 年 月 日	昭 和 平 成	年 月 日
	出身中学校						
保 護 者	氏 名						(印)
	現 住 所						
城ノ内・富岡東・川島高等学校以外の全日制普通科を志願する場合の学区の別				学 区 内 ・ 学 区 外			

入学検査料  
徳島県収入証紙  
をこの欄に貼る。

入学検査料  
徳島県収入証紙  
をこの欄に貼る。

入学検査料  
徳島県収入証紙  
をこの欄に貼る。

入学検査料  
徳島県収入証紙  
をこの欄に貼る。

全日制 2,200円  
定時制 950円

注意 裏面の記入上の留意事項を参照の上、記入すること。

高等学校長 殿

徳島県立阿南光高等学校入学者選抜委員会 殿

## 記入上の留意事項

- 1 上部の丸の欄には、特色選抜は「特」、連携型選抜は「連」と記入すること。
- 2 全日制、定時制は、いずれか一方を○で囲むこと。
- 3 「志望学科順位」の欄には、学科（公立高等学校生徒募集選抜要項の別表1〔41・42ページの公立高等学校一覧〕に掲げる小学科・類をいう。）名を記入し、科・類はいずれか一方を○で囲むこと。  
特色選抜又は連携型選抜においては、志願先高等学校にある特色選抜又は連携型選抜を実施する学科を、志望順に記入することができる。ただし、体育科と総合学科、又は、普通科と芸術科を、それぞれ志望順に記して出願することはできない。また、芸術科は、芸術科（音楽）、芸術科（美術）又は芸術科（書道）を志望順に記して出願することはできない。
- 4 「選抜の種類」の欄には、特色選抜の場合は、トップスポーツ校育成事業の指定校の指定競技以外については「特色」、指定競技については「指定」と記入し、連携型選抜の場合は「連携」と記入すること。  
また、「特色選抜の分野名」の欄は、「スポーツ」、「文化活動」、「その他」、「指定競技」のいずれかを○で囲み、「スポーツ」、「文化活動」、「その他」については（　）内に「男子硬式野球」、「女子バスケットボール」、「吹奏楽」、「生徒会活動」等の具体的な活動内容を記入し、「指定競技」については（　）内に「男子バスケットボール」、「女子陸上競技」等の指定競技名を記入すること。
- 5 「性別」の欄に男女の別を記入すること。
- 6 「生年月日」の欄の昭和、平成は、いずれか一方を○で囲むこと。
- 7 「保護者の現住所」の欄については、志願者の現住所と同一の場合、「志願者の欄に同じ」（「生徒の欄に同じ」でも可とする。）と略記すること。  
なお、満20歳以上の者は、保護者欄の記入を要しない。ただし、志願者欄の氏名の後に印を押すこと。
- 8 「城ノ内・富岡東・川島高等学校以外の全日制普通科を志願する場合の学区の別」の欄は、保護者の現住所により、学区内・学区外のいずれか一方を○で囲むこと（第2志望以降で志願する場合を含む）。ただし、選抜の種類が「指定」・「連携」の場合及び県外から志願者のみの転住で出願を承認された場合は記入を要しない。
- 9 宛先は志願先高等学校長とする。ただし、阿南光高等学校以外の高等学校に出願する者は「徳島県立阿南光高等学校入学者選抜委員会殿」の文字を二重線で消し、阿南光高等学校に出願する者は「高等学校長殿」の文字を二重線で消すこと。
- 10 入学考查料については、県立高等学校に出願する者は、徳島県収入証紙により本用紙右上の所定欄に貼り付けること。ただし、その際、証紙に消印をしないこと。また、市立高等学校に出願する者は、現金で中学校長に提出すること。

## 入 学 願 書

(一般選抜・第2次募集)

貴校 全日制  
定時制 の課程に入学したいのでお願いします。

志望する学科は次のとおりです。

平成 年 月 日

志望 学科 順位	1	科・類	2	科・類
	3	科・類	4	科・類
	5	科・類	6	科・類

入学調査料  
徳島県収入証紙  
をこの欄に貼る。

入学調査料  
徳島県収入証紙  
をこの欄に貼る。

入学調査料  
徳島県収入証紙  
をこの欄に貼る。

入学調査料  
徳島県収入証紙  
をこの欄に貼る。

全日制 2,200円  
定時制 950円

志 願 者	ふりがな 氏名		性 別		生年 月日	昭和 平成	年 月 日
	現住所						
保 護 者	出身中学校						
氏 名						印	
現住所							
城ノ内・富岡東・川島高等学校以外の全日制普通科を志願する場合の学区の別						学区内・学区外	

志願変更承認印

高等学校長 殿

徳島県立阿南光高等学校入学者選抜委員会 殿

高等専門学校への出願の有無	有 · 無	高専名	高等専門学校
---------------	-------	-----	--------

注意 裏面の記入上の留意事項を参照のこと。

## 記入上の留意事項

- 1 全日制、定時制は、いずれか一方を○で囲むこと。
- 2 「志望学科順位」の欄には、学科（公立高等学校生徒募集選抜要項の別表1〔41・42ページの公立高等学校一覧〕に掲げる小学科・類をいう。）名を記入し、科・類はいずれか一方を○で囲むこと。

志願先高等学校にある一般選抜又は第2次募集を実施する学科を、志望順に記入することができる。ただし、芸術科は、芸術科（音楽）、芸術科（美術）又は芸術科（書道）を志望順に記入することはできない。
- 3 「性別」の欄に男女の別を記入すること。
- 4 「生年月日」の欄の昭和、平成は、いずれか一方を○で囲むこと。
- 5 「保護者の現住所」の欄については、志願者の現住所と同一の場合、「志願者の欄に同じ」（「生徒の欄に同じ」でも可とする。）と略記すること。

なお、満20歳以上の者は、保護者欄の記入を要しない。ただし、志願者欄の氏名の後に印を押すこと。
- 6 「城ノ内・富岡東・川島高等学校以外の全日制普通科を志願する場合の学区の別」の欄は、保護者の現住所により、学区内・学区外のいずれか一方を○で囲むこと（第2志望以降で志願する場合も含む）。ただし、県外から志願者のみの転住で出願を承認された場合及び第2次募集においては、記入を要しない。
- 7 宛先は志願先高等学校長とする。ただし、阿南光高等学校以外の高等学校に出願する者は「徳島県立阿南光高等学校入学者選抜委員会殿」の文字を二重線で消し、阿南光高等学校に出願する者は「高等学校長殿」の文字を二重線で消すこと。
- 8 破線で囲んだ「志願変更承認印」の欄は、記入しないこと。
- 9 入学考查料については、県立高等学校に出願する者は、徳島県収入証紙により本用紙右上の所定欄に貼り付けること。ただし、その際、証紙に消印をしないこと。また、市立高等学校に出願する者は、現金で中学校長に提出すること。
- 10 高等専門学校への出願の有・無については、いずれか一方を○で囲むこと。ただし、出願時に高等専門学校の選抜結果が判明している場合は、「無」を○で囲むこと。また、「有」を○で囲んだ者は、出願している高等専門学校名を記入すること。

なお、第2次募集においては、記入を要しない。

平成30年度公立高等学校入学者選抜受検票（特色・連携）				写真 (縦4cm×横3cm) 正面半身脱帽 出願前6か月以内に撮影したもの。 カラー・白黒いずれも可。 裏に氏名を明記する。
受 檢 番 号	※	ふりがな 氏 名		
志 望 校 名	高等学校		選抜の 種 類	
志 望 学 科	第 1 志 望 科・類	第 2 志 望 科・類		
出 身 中 学 校			中学校	卒 業 卒業見込み

契

印

切り取らぬこと。

## 平成30年度公立高等学校入学者選抜受検票（特色・連携 高校控）

受 檢 番 号	※	ふりがな 氏 名			
志 望 学 科	第 1 志 望 科・類	第 2 志 望 科・類	選抜の 種 類		
出 身 中 学 校			中学校	卒 業 卒業見込み	

(裏)

- この受検票は、検査の当日持参し、受検中は机上におくこと。
- 検査場へは、筆記用具（鉛筆類、消ゴム、鉛筆削り、定規〔分度器及び分度器機能のついたものは除く。〕、コンパス）を持参すること。また、時計を持ち込む場合は時計機能のみのものであること。  
なお、公式又は法則等を記載したもの、計算及び辞書機能を持つものなど、検査の公平をそこなうおそれのあるものや、携帯電話などの移動通信機器の持ち込みは認めない。筆入れ、下敷きなど、その他のものについては、各高等学校の指示に従うこと。
- 実技等での持参物等については、各高等学校の生徒募集案内に従うこと。
- 受検中は、全て検査員の指示に従うこと。

## 注 意

- 1 上部の丸の欄には、特色選抜は「特」、連携型選抜は「連」と記入すること。
- 2 「志望学科」の欄には、入学願書「志望学科順位」の欄に記入した第2志望までの学科名を記入し、科・類はいずれか一方を○で囲むこと。
- 3 「選抜の種類」の欄には、特色選抜の場合は、トップスポーツ校育成事業の指定校の指定競技以外については「特色」、指定競技については「指定」と記入し、連携型選抜の場合は「連携」と記入すること。
- 4 「出身中学校」の欄の卒業、卒業見込みは、いずれか一方を○で囲むこと。
- 5 志願者の写真（縦4cm×横3cm、正面半身脱帽、出願前6か月以内に撮影、カラー・白黒いずれも可、裏に氏名を明記。）を、所定の位置に貼ること。
- 6 「高校控」にも同様に記入すること。
- 7 ※の欄は記入しないこと。

平成30年度公立高等学校入学者選抜受検票（一般・2次）				<b>写真</b> (縦4cm×横3cm) 正面上半身脱帽 出願前6か月以内 に撮影したもの。 カラー・白黒いずれも可。 裏に氏名を明記する。	
受 檢 番 号	※	ふりがな 氏 名			
志 望 校 名					高等 学 校
志 望 学 科	第 1 志 望	第 2 志 望			
		科・類		科・類	
出 身 中 学 校				中学校 卒 業 卒業見込み	



切り取らないこと。

平成30年度公立高等学校入学者選抜受検票（一般・2次 高校控）			
受 檢 番 号	※	ふりがな 氏 名	
志 望 学 科	第 1 志 望	第 2 志 望	
		科・類	科・類
出 身 中 学 校	中学校 卒 業 卒業見込み		

(裏)

- この受検票は、学力検査及び面接の当日持参し、受検中は机上におくこと。
- 検査場へは、筆記用具（鉛筆類、消ゴム、鉛筆削り、定規〔分度器及び分度器機能のついたものは除く。〕、コンパス）を持参すること。また、時計を持ち込む場合は時計機能のみのものであること。  
なお、公式又は法則等を記載したもの、計算及び辞書機能を持つものなど、検査の公平をそこなうおそれのあるものや、携帯電話などの移動通信機器の持ち込みは認めない。筆入れ、下敷きなど、その他のものについては、各高等学校の指示に従うこと。
- 実技検査での持参物等については、各高等学校の生徒募集案内に従うこと。
- 受検中は、全て検査員の指示に従うこと。

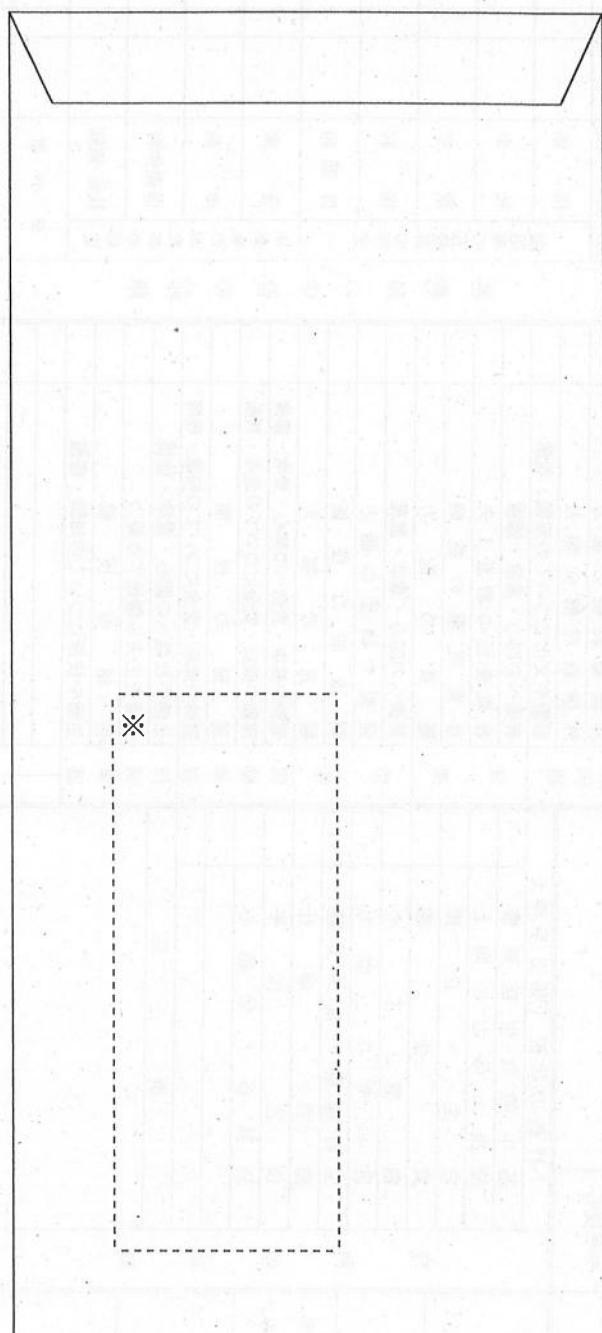
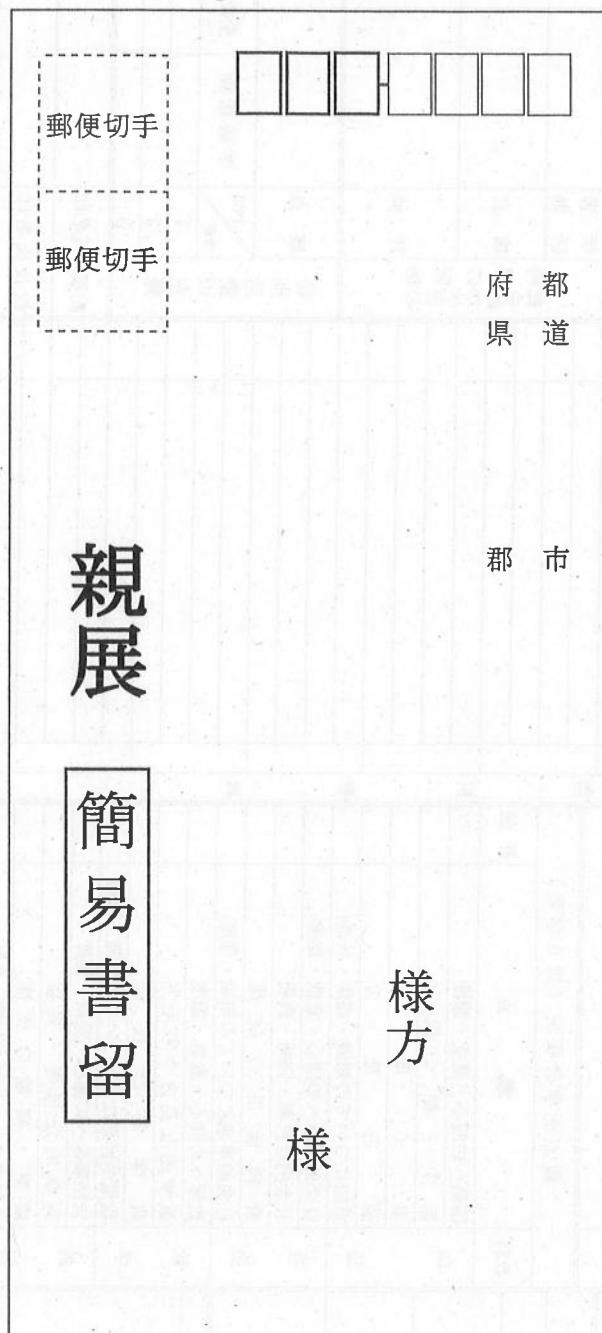
## 注 意

- 1 「志望学科」の欄には、入学願書「志望学科順位」の欄に記入した第2志望までの学科名を記入し、科・類はいずれか一方を○で囲むこと。
- 2 「出身中学校」の欄の卒業、卒業見込みは、いずれか一方を○で囲むこと。
- 3 志願者の写真（縦4cm×横3cm、正面上半身脱帽、出願前6か月以内に撮影、カラー・白黒いずれも可、裏に氏名を明記。）を、所定の位置に貼ること。
- 4 「高校控」にも同様に記入すること。
- 5 ※の欄は記入しないこと。

## 選抜結果通知用封筒

(表)

(裏)



### 注意

- 選抜結果の通知を受ける住所（町村名、番地まで）、郵便番号、志願者の氏名等を記入すること。住所がアパート・団地等の場合は、「様方」の欄にアパート名、棟番号を記入すること。
- 392円分の切手（料金改定があった場合は、改定後の料金分の切手）を貼ること。
- ※の欄には受検校において、受検校名及び所在地を記入すること。
- 郵送は簡易書留によって行うので、選抜結果通知日には受検者又は家族が在宅すること。

様式第4号

平成30年度入学者選抜 調査書		中学校名	行動の状況(第3学年)			各教科の学習の記録	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 外國語表現の能力 外國語理解の能力 言語や文化についての知識・理解			教科	年 国語等の五教科の評定	1 社会 2 数学 3 英語 ※
志願者	氏名		性別	年齢	年月日		基礎体力の向上	音楽	音楽表現の創意工夫			
生年月日 性別	昭和 年 平成	性別	自・主	自・主	健・康・體・力	音	音楽への関心・意欲・態度	音	美術への関心・意欲・態度	音	外國語	
中学卒業年月日	日本	日本	職業見込み	勤・労	創・意	樂	音楽表現の技術	樂	美術表現の技術	樂	外國語	
保護者	氏名			公・正	命・尊・重	美	美術への関心・意欲・態度	美	美術への関心・意欲・態度	美	音楽	
現住所				公・共・心	協・力	美	発想や構想の能力	美	創造的的な能力	美	音楽等の四教科の評定	
				公・德・心	仕・業	美	運動や健康・安全への関心・意欲・態度	美	創造的的な能力	美	保健体育	
						育	運動や健康・安全についての知識・理解	育	運動や技術への関心・意欲・態度	育	長・家庭	
						技	生活や技術への関心・意欲・態度	技	生活や技術への関心・意欲・態度	技	小計	
						生活	生活を工夫し創造する能力	生活	生活を工夫し創造する能力	生活	※ 小計	
						家	生活の技術	家	生活の技術	家	※ 小計	
						庭	生活や技術についての知識・理解	庭	生活や技術についての知識・理解	庭	※ 小計	
						選		選		選		
						出欠の記録	観点別学習状況(第3学年)	出欠の記録	観点別学習状況(第3学年)	出欠の記録	各教科	
区分	学年	1	2	3	教科	観	点	評価	観	点	総合的な学習の評価	
備考	出席しなければならない日数				国語	國語への関心・意欲・態度			視	点	視	
	欠席日数				話す・聞く能力				評	値	評値	
					書く能力							
					読む能力							
					言語についての知識・理解・技能							
					社会的事象への関心・意欲・態度							
					社会的な思考・判断・表現							
					資料活用の技能							
					社会的事象についての知識・理解							
					数学への関心・意欲・態度							
					数学的な考え方や考え方							
					数学的な技能							
					数量や図形などについての知識・理解							
					自然事象への関心・意欲・態度							
					科学的な思考・表現							
					観察・実験の技能							
					自然事象についての知識・理解							

注意 用紙の大きさはB4判とすること。

## 平成 年度 高等学校 志願者名簿 ( 制の課程)

中 学 校

選抜の種類		普通科の学区				
卒業年度	※受検番号	氏 名	性別	志望学科	※合否	※備 考

## 注 意

- 1 提出先高等学校名を記入すること。
- 2 選抜の種類の欄は、特色選抜の場合は、トップスポーツ校育成事業の指定校の指定競技以外については「特色」、指定競技については「指定」と記入し、連携型選抜の場合は「連携」と記入すること。また、県外から志願者のみの転住で出願を承認された場合は用紙を別にすること。
- 3 本校志願者と分校志願者及び普通科志願者と専門学科志願者と総合学科志願者は、それぞれ用紙を別にすること。
- 4 全日制普通科（城ノ内高等学校、富岡東高等学校及び川島高等学校を除く。）志願者は、学区内・外の志願者ごとにそれぞれ用紙を別にし、普通科の学区欄に「内」又は「外」を記入すること。ただし、選抜の種類が「指定」・「連携」の場合及び県外から志願者のみの転住で出願を承認された場合は、学区内・外別に記載する必要はなく、普通科の学区欄は空欄とする。
- 5 記載順は志望学科別とすること。
- 6 「志望学科」の欄は、入学願書「志望学科順位」の欄に記入した第1志望の学科名を記入すること。
- 7 ※の欄は記入しないこと。
- 8 用紙の大きさは、A4判とすること。

平成 年度 高等学校 志願者名簿 ( 制の課程 )

中 学 校

普通科の学区							
卒業年度	※受検番号	氏 名	性別	志望学科	※合否	※備 考	

## 注 意

- 1 提出先高等学校名を記入すること。
- 2 全日制の課程志願者と定時制の課程志願者、本校志願者と分校志願者及び普通科志願者と専門学科志願者と総合学科志願者は、それぞれ用紙を別にすること。また、県外から志願者のみの転住で出願を承認された場合は用紙を別にすること。
- 3 全日制普通科（城ノ内高等学校、富岡東高等学校及び川島高等学校を除く。）志願者は、学区内・外の志願者ごとにそれぞれ用紙を別にし、普通科の学区欄に「内」又は「外」を記入すること。ただし、県外から志願者のみの転住で出願を承認された場合は、学区内・外別に記載する必要はなく、普通科の学区欄は空欄とする。
- 4 記載順は志望学科別とすること。
- 5 「志望学科」の欄は、入学願書「志望学科順位」の欄に記入した第1志望の学科名を記入すること。
- 6 ※の欄は記入しないこと。
- 7 一般選抜の場合は、特色選抜及び連携型選抜の合格者は出願できない。第2次募集の場合は、特色選抜、連携型選抜及び一般選抜の合格者は出願できない。
- 8 用紙の大きさは、A4判とすること。

## 教科評定分布表

中学校名  
校長氏名

回

## 1 生徒数

卒業見込者数	人	評定対象者数 (※注意3)	人
--------	---	------------------	---

## 2 各教科の評定分布状況(※注意4)

教科	段階	5	4	3	2	1	総計
国語	人数						人
社会	人数						人
数学	人数						人
理科	人数						人
外国語	人数						人
音楽	人数						人
美術	人数						人
保健体育	人数						人
技術・家庭	人数						人

※ 卒業見込者数と評定対象者数が異なるとき、また、評定対象者数と各教科の総計が異なるときに、それぞれの理由を記入する。(※注意5)

--

## 注意

- 1 平成29年12月31日現在で在籍している第3学年生徒全員について作成すること。
- 2 第3学年の評定分布について記入すること。
- 3 評定対象者数の欄には1教科でも評定（特別な教育課程により学習している者の評定も含む。）があれば、人数に含めて記入すること。
- 4 特別な教育課程により学習している者の評定は、該当教科の評定分布状況の人数には含めないこと。
- 5 卒業見込者数と評定対象者数、及び、評定対象者数と各教科の総計が異なるときの理由の欄には、例のように記入すること。  
 例) 卒業見込者のうち3人が不登校で、全教科において評定をするのが困難であるため、卒業見込者数と評定対象者数が異なっている。また、特別支援学級に在籍している2人は、国語、社会、数学、理科、外国語について特別な教育課程で学習しており、評定分布状況の人数に入れることができないため、評定対象者数と該当教科の総計が異なっている。
- 6 一般選抜では、特色選抜において提出した高等学校であっても提出すること。
- 7 用紙の大きさは、A4判とすること。

## 所 属 学 区 変 更 許 可 願

平成 年 月 日

高等学校長 殿

志願者氏名

保護者氏名

印

貴校普通科に入学したいので、次の理由により、学区内志願者として出願を承認くださるようお願いします。

保護者 名	氏	父			住	父		
					所	母		
志願者	小学校又は 中学校入学 以後就学し た学校及び 居住状況		年 月 日	学 校 名		居 住 地 (住 所)	居住地変更の理由	
事 情 説 明								
上記のとおり相違ないことを証明します。 中学校名 校長氏名								

## 注 意

- 1 宛先は志願先高等学校長とする。
- 2 親権者のいない者は、保護者の欄に、後見人又は後見人の職務を行っている者について記入すること。
- 3 住所の欄には、住民基本台帳法に基づき登録している住所を記入すること。
- 4 志願者の欄には、事情説明の欄に記入する内容に関する志願者の就学した学校名、居住地、居住地変更の理由を記入すること。
- 5 事情説明の欄は、居住地変更の理由等について、具体的に記入すること。
- 6 理由を証明する書類を添付すること。(別記3、36ページ)
- 7 用紙の大きさは、A4判とすること。

## 県外志願特例措置願

次のとおり貴県の高等学校に入学を志願し、合格したときは、必ず入学することを誓約しますから、県外志願特例措置の承認をお願いします。

### 1 入学希望学校及び学科

第1希望

第2希望

### 2 理由

平成 年 月 日

志願者 学校名  
氏名

保護者 現住所  
氏名   
志願者との続柄

学校長 氏名

徳島県教育委員会教育長 殿

### 注意

- 1 徳島市立高等学校を志願する場合は、徳島市教育委員会の定める様式によること。
- 2 用紙の大きさは、A4判とすること。

## 徳島県立高等学校入学志願承認書

学校名

志願者

氏名

上記の者の平成 年度徳島県立高等学校に係る県外志願特例措置願による願いを承認します。

1 県外志願特例措置願に記されていた特別な事情

2 志願者の入学希望学校及び学科（「県外志願特例措置願」提出時の希望先）

第1希望

第2希望

平成 年 月 日

徳島県教育委員会教育長

印

### 注意

- 1 徳島市立高等学校を志願する場合は、徳島市教育委員会の定める様式によること。
- 2 用紙の大きさは、A4判とすること。

## 活動記録

平成 年 月 日

高等学校長 殿  
 徳島県立阿南光高等学校入学者選抜委員会 殿  
 中学校名  
 志願者氏名

印

部活動等の活動名		志望学科	科・類			※	
活動状況							
	区分	大会・行事・コンクール等の名称	実施年月	成績・実績	学年	団・個	ポジション・役割
	全国・地区						
	県・ブロック						
	郡・市						
	地域・校内						
	その他						
各種資格	取得年月日	資格等の名称			認定機関の名称		
中学校生活の状況	志願者記入						
	校長所見						
上の記載は、事実に相違ないことを認めます。			平成 年 月 日				
中学校 校長氏名			印				

(記入上の留意点)

- 1 志願者本人が記入し、中学校長に提出する。
- 2 宛先は志願先高等学校長とする。ただし、阿南光高等学校以外の高等学校に出願する者は「徳島県立阿南光高等学校入学者選抜委員会殿」の文字を二重線で消し、阿南光高等学校に出願する者は「高等学校長殿」の文字を二重線で消すこと。

なお、鳴門渦潮高等学校の一般選抜又は第2次募集において体育科で募集があり、体育科を志願する場合は、「部活動等の活動名」の欄には本人が希望する専攻実技種目（別表2、43ページ）を記入する。

また、名西高等学校の一般選抜又は第2次募集において芸術科で募集があり、芸術科を志願する場合は、「部活動等の活動名」の欄には本人が希望する活動（音楽・美術・書道）を記入する。
- 3 「部活動等の活動名」の欄には、志願先高等学校が特色選抜で募集する部活動等から、本人が希望する活動（種目・分野）を記入する。

なお、中学校在学中に本人が希望する活動（種目・分野）を行っていない場合は、中学校在学中の他の活動状況について記入することができる。
- 4 「志望学科」の欄には、入学願書「志望学科順位」の欄に記入した第1志望の学科名を記入し、科・類はいずれか一方を○で囲むこと。また、※の欄は記入しないこと。
- 5 「活動状況」の欄には、本人が希望する活動（種目・分野）における、中学校在学中の活動状況を記入する。

なお、中学校在学中に本人が希望する活動（種目・分野）を行っていない場合は、中学校在学中の他の活動状況について記入することができる。
- 6 「主な活動実績・結果」の欄には、本人が希望する活動（種目・分野）における、大会や行事、コンクール等の名称、実施年月、成績又は実績、学年、団体・個人の別、ポジション（陸上競技の場合は競技種目）又は役割を記入する。

なお、中学校在学中に本人が希望する活動（種目・分野）を行っていない場合は、中学校在学中の他の活動における内容について記入することができる。
- 7 「各種資格」の欄には、取得資格、役員歴、優秀選手等について記入する。
- 8 「中学校生活の状況」の欄には、学習活動への取組や生活態度等を記入し、中学校長は「校長所見」の欄に記入する。
- 9 用紙の大きさは、A4判とすること。